



米戸別所得補償説明会

J A 安芸主催により 3 月 26 日安芸区(J A 安芸瀬野支店・阿戸支店)、3 月 29 日海田町(J A 安芸東海田支店)、4 月 2 日熊野町(熊野町民会館)にて説明会を開催いたしました。

中国四国農政局広島農政事務所より担当官に戸別所得補償モデル対策について詳細な説明をいただきました。



平成 16 年から始まった米政策改革大綱は大規模農家を優遇しましたが、今回の米戸別所得補償制度モデル事業は、全ての販売農家を対象に稲作の生産費に見合う所得を補償するので、管内にも多数の生産者が対象となります。今回 100 名以上の方が説明を聞きに来られ申請の仕方について色々と質問があり有意義な説明会でした。



スローライフで夢づくり

3 月 18 日「スローライフで夢づくり」定年就農者育成事業の研修修了式が行われました。

「スローライフで夢づくり」は、財団法人広島市農林水産振興センターにて 1 年間野菜づくりの研修を行い、研修終了後は広島市の遊休農地を斡旋してもらい就農できる事業です。

今迄に畑賀地区に 3 名、阿戸地区へ 1 名就農され活菜倶楽部に入会され頑張っておられます。今回 3 名の方が研修を修了され、畑賀地区へ 1 名、阿戸地区へ 2 名就農することになりました。

広島市農業振興協議会

4 月 14 日広島市農業振興協議会合同会議が開催されました。

この協議会は広島市域の農業生産組織の協議会で農事研究会の 14 組織と畜産団体の 6 団体から組織されています。専門委員会を 10 委員会作り、ひろしま産品の PR・市長と農業者との懇談会・研修会等活発に活動しています。今回の会議には、J A 安芸管内から J A 安芸組合長、瀬野川農事研究会会長、阿戸町の農事研究会会長、花き委員会委員長、女性活性委員会委員長が参加して「平成 21 年度本部会支出決算及び本部事業実績」について協議いたしました。総会は 5 月 19 日 J A 広島市本店で開催する予定です。



新人職員、購買担当者の農業体験学習

4 月 6 日に J A 安芸育苗センターにて新人職員、購買担当者の農業体験学習がありました。新人職員の中には農業体験のない職員もおり、水稻、野菜に関する体験を 1 年を通じて行っていく予定です。今回第一回目は、水稻では種もみの塩水選と温湯消毒を行いました。



若い職員は飲み込みが早くすぐに要領をえてスムーズに作業を行っていました。また、野菜体験では、土の耕運や枝豆の定植などを行いました。天気にも恵まれ、デスクワークの多い職員にとっては貴重な体験になったと思います。

瀬野川農事研究会総会

平成 22 年 3 月 24 日に瀬野川農事研究会の総会が瀬野福祉センターで行われました。

瀬野川農事研究会は 7 つの部会で構成されており、視察研修や地域の農業振興、安芸区民まつりなどで野菜などの直売を通じ地元農産物の PR 活動などを行っております。

当日、総会前に 4 月より試験的に行われる戸別所得補償モデル対策について広島農政事務所の担当官より制度の説明会を行い、活菜倶楽部への出荷農家が多数おられるため皆さん熱心に説明を聞いておられました。また、総会の事業報告では会計や各部会の活動報告のほか展示圃での試験結果の報告などもありました。今年度は「所得や栽培技術の向上を目指し地域の農業振興を図る」を目標に活動すると議決され、無事総会が終了しました。

阿戸町農事研究会総会

第 31 回通常総会が平成 22 年 4 月 3 日(土) J A 安芸阿戸支店にて行われました。阿戸町農事研究会では稲作、黒大豆、ハウス、野菜、切花、女性活性、朝市の各部会がありそれぞれの活動の報告がありました。また、広島市農業振興協議会委員として作物、野菜、花き、女性活性の各委員がおられ活発に活動された報告がありました。役員改正もあり、10 年という永きにわたって活躍された古井清一様が会長から顧問に就任され、新しく倉本利泰様が会長に就任されました。

今年度の会員数は昨年度より若干名減少しましたが、新規就農者の方が 2 名入会されました。大変喜ばしいことだと思います。事業計画および収支予算は原案どおり承認されました。

日廻り市場総会

4 月 19 日に熊野町新宮海上側にあるまごころ農産物直売所として常連客に親しまれている日廻り市場の第 19 回通常総会が行われました。第 1 号議案「平成 21 年度事業及び収支決算報告」について、第 2 号議案「平成 22 年事業計画(案)及び収支予算」について協議を行い原案どおり承認されました。

5月営農メモ

水稲

○本田の準備

代かきは田面を均平にし、苗立ちの良い硬さにするとともに除草剤の効果を高めることができます。このとき練り過ぎますとガス障害のため初期成育に悪影響を及ぼします。一般土壌では田植え4~5日前に代かきをすると土の固さが安定し良い状態になります。柔らかすぎると深植えになりやすく、固いと浅植や浮き苗の原因になります。

○基肥 基肥は地力で足りないチッソ・リン酸・カリを補給し、必要茎数を確保するために施用します。稲作ごよみの施肥例を参考に、昨年水田ごとの生育状況を考慮し、施肥設計します。昨年休耕した水田や野菜あとで作る水田では基肥を少なめか無しにします。基肥一発型のJ B575Mは、コシヒカリなどの早生品種に、TSロングからなし2号は、ヒノヒカリなどの中生品種に使用でき、追肥・肥穂が不要で省力ができます。穏やかに効き、葉色は薄めに生育します。(天候によっては穂肥が必要な場合があります。)

○田植え 大株植えや密植は過繁茂となり、収量・品質低下や倒伏の原因になるばかりか消えてゆくむだな茎も多くなり、思った程収量・品質は上がりません。1株当り3~5本とし、植付け間隔は条間30cm×株間16.5~18cmを目安にしてください。ただし、株の張りにくい田ではやや狭めに植付けてください。補植は3株以上欠株の場合のみとし、1~2株程度の欠株は、その周囲の株張りが良くなるのでほとんど影響しません。

○箱施用剤 圃場や品種の適したものを選び、なるべく当日の施用は避け登録の範囲内で早めに散布した方が効果が高まります。除草剤と間違えないように散布前にもう一度確認してください。

○田植え後の水管理 苗が活着するまでは、水を溜めてかけ流しを避け、積極的に水温を上げます。今年は低温が予想されますので、早期の田植の場合の特に注意をしてください。活着後は、ときおり水を落として土中に空気を入れ、根を元気にします。夜間や日中でも曇って寒い日や風の強い日は、やや深水とします。

○活着期~分けつ期 活着して葉色が出てきたら、3~4日おきに水を落とし、田がわくのを防ぎます(間断かんがい)。ただし、漏水田で田干しのやりすぎは雑草が発生するので注意してください。

○追肥 分けつを促進するとともに、穂肥まで下限葉色を維持します。コシヒカリ、ココノエモチは、田植え後7日、ヒノヒカリ、あきろまんは、田植え後10~14日頃中間追肥を施用します。

○除草剤 散布方法や条件に適応した農薬を選び適期に使用し、除草効果を高めましょう。散布前には必ずラベルを確認し、しっかり水を溜め散布後3~4日は3~5cmの水位を保つ様に静かに入水し、田面が露出しない様に水管理を徹底して下さい。そうする事でかなり効果が高まります。 ※散布後7日間は落水、かけ流しをしないで下さい。

野菜 は、別紙にあります。

果樹

カキ

4月は曇雨天の日が多く日照時間が少なかったので生育を心配しています。今月は、新梢が伸びて開花します。開花後1ヵ月ぐらい生理落下があります。

芽かぎ 一冬に剪定したところより陰芽が伸びてきたり、それぞれの新芽が伸びてきます。込み合って風の通りが悪いとか、日(光)が入らないように込み合う新梢はかぎとります。

受精 カキは受粉樹がなくても結実しますが受精すると次のような良い点があります。①落果しにくい。②不完全甘柿の場合渋が抜ける。③実が大きくなる。④甘味が増す。⑤収量が安定する。柿は雌花と雄花があり受粉樹として雄花の着生が多い「禅寺丸」等を混植します。手で行う受粉作業は効果があります。

摘蕾 (富有) 摘蕾適期は新梢伸長停止期(約5月中旬)

栽植本数が多い場合は早い時期より開花までに行います。大きな果実にするには摘果より摘蕾の方が効果があります。大きな果実を付けるには結果母枝より発生した結果枝の位置により果実の性質が決まっているので良いところを残します。1枝では中央の下向きの蕾が残す蕾になります。(図1 蕾の着生位置と果実の性質)

摘蕾の目安は、1結果枝1蕾を基本に行い、摘果により最終調整を行います。結果母子1蕾にした時と1結果枝1蕾にした時と摘果により作った場合の36年生富有の表を載せておきます。(表2) 結果母枝1蕾にしたものが1番果実が大きくなっています。また、葉果比(1果実を養う葉の数)による果実の平均果重・糖度を調べた表を載せておきます。(表3) 1果実を養うのに葉が20~30枚必要と言われていています。5枚以下の枝には蕾を付けません。

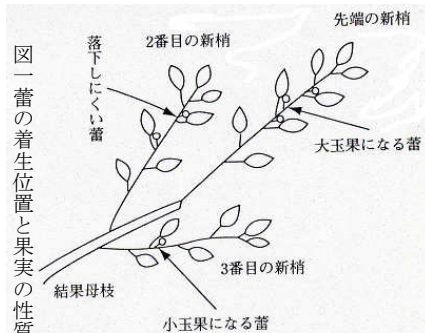


図1 蕾の着生位置と果実の性質

表3 樹齢別葉果比と果重、糖度(富有)(一九七二)

樹齢	葉数	平均果重(g)	糖度
8年	10	199.3	14.8
	15	198.5	14.9
	20	209.8	14.7
13年	10	201.0	14.5
	15	211.0	15.1
	20	231.9	14.5
47年	10	207.9	15.1
	15	203.0	15.0
	20	189.4	15.0
	30	208.0	14.6

区	87年	88	89	90	91	92	93	94	95	96	平均
結果母枝1蕾(摘蕾)	309	300	317	325	325	323	315	290	320	280	310
1枝1蕾(摘蕾)	299	280	294	295	294	288	279	259	270	232	279
摘果	258	240	249	238	222	288	235	246	247	203	243

表2 摘蕾と平均果重(36年生富有)(g)

5月営農メモ

野菜

今年は4月末まで冷え込む見込みのためゴールデンウィーク明けまでは保温を徹底しましょう。特に4月25日頃は例年冷え込むことが多いので晩霜に注意して下さい。

今から播種できるもの

うり類、えだまめ、いんげんまめ、オクラ、スイートコーンなどがあります。いずれも4月に播種する場合播種後はユラックなどでトンネルを行って下さい。また、オクラやにがうりなどは表皮が硬く給水が悪いので一晩水に漬けて播くと発芽が揃いやすくなります。

苗について

- ・追肥 定植後20日程度すると肥料が切れ始めますので追肥を開始しましょう。
- ・誘引 ゴールデンウィークが明け気温が安定してくれば早めにトンネルを除去し、支柱を立てて誘引を行いましょう。併せて整枝を行いましょう。
- ・整枝 トマト類では全ての、きゅうりでは5節以下、ピーマンでは一番花より下、なすでは一番花より3芽下からの腋芽は不要となりますので早めに取り除きましょう。
- ・摘心 スイカなどうり類は本葉7枚頃に5枚残して摘心を行い、子づるを4~5本伸ばして下さい。孫づるは一番花以下では株元が込み合うため早目に除去しましょう。

病害虫

4月よりアブラムシの発生が多くなります。また、天気が良い日が続くとなすなどでハダニの被害が出始めます。5月後半になると馬鈴薯などでテントウムシダマシなどの被害も見られるようになります。病気ではえんどうなどは5月頃よりうどんこ病が発病してきますのでいずれの場合も発生初期に防除を行いましょう。

JA安芸管内で取り扱いがある農薬では

アブラムシ アドマイヤー水和剤、ジェイエース水溶剤、トレボン乳剤、ディプテレックス乳剤、マラソン乳剤など

ハダニ オサダン水和剤、ダニトロンフロアブル、ピラニカEW、マラソン乳剤など

テントウムシダマシ アディオン乳剤、オルトラン水和剤、スミチオン乳剤、ディプテレックス乳剤など

ウリハムシ スミチオン乳剤、ディプテレックス乳剤、マラソン乳剤など

うどんこ病 ダコニール1000、トップジンM水和剤、トリフミン水和剤、モレスタン水和剤など

※いずれの薬剤も使用前に登録の有無を確認後使用して下さい。